

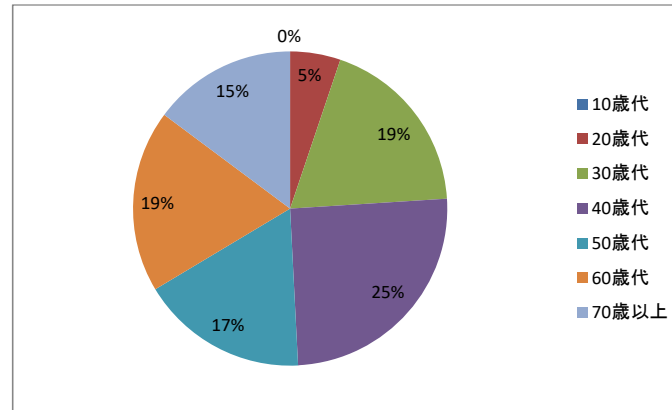
第10回 「金沢市の男女共同参画に関する意識についてのアンケート」の調査結果

【アンケート実施期間】 令和2年1月9日～令和2年1月23日

【アンケートの目的】 本市では、性別にかかわらず一人ひとりが個性と能力を十分に発揮しながら、生き生きと充実した生活を送ることができる社会をめざし「新金沢市男女共同参画推進行動計画（改定版）」を策定し、施策の推進を図っております。この調査は、計画の推進状況を客観的に把握するための資料とさせていただきます。

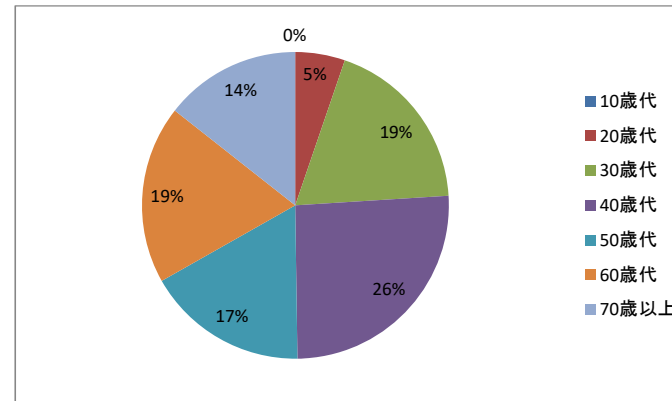
【対象者数】 250 名

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	13	5.2
30歳代	47	18.8
40歳代	63	25.2
50歳代	43	17.2
60歳代	47	18.8
70歳以上	37	14.8
計	250	100.0



【回答者数】 229 名

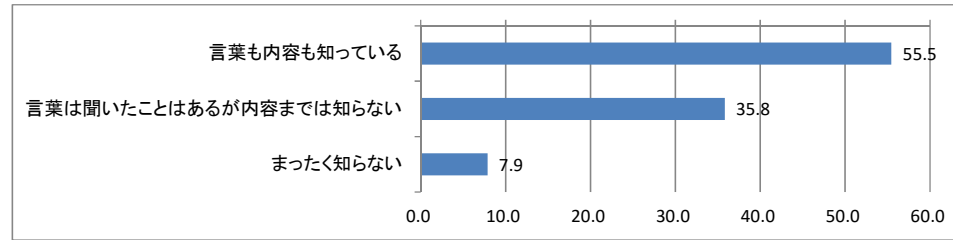
内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	12	5.2
30歳代	43	18.8
40歳代	59	25.8
50歳代	39	17.0
60歳代	43	18.8
70歳以上	33	14.4
計	229	100.0



【回答率】 91.6 %

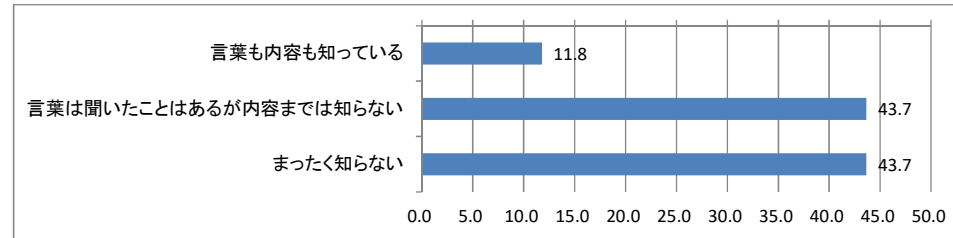
問1 「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。

回答	人数	%
言葉も内容も知っている	127	55.5
言葉は聞いたことはあるが内容までは知らない	82	35.8
まったく知らない	18	7.9
※未回答 2件		



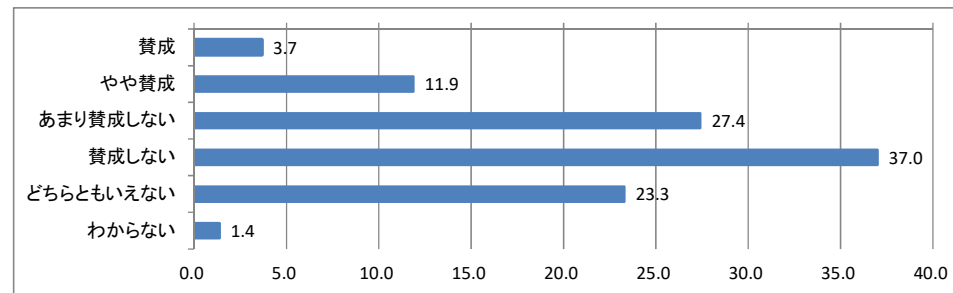
問2 「金沢市男女共同参画推進行動計画」は知っていますか。

回答	人数	%
言葉も内容も知っている	27	11.8
言葉は聞いたことはあるが内容までは知らない	100	43.7
まったく知らない	100	43.7
※未回答 2件		



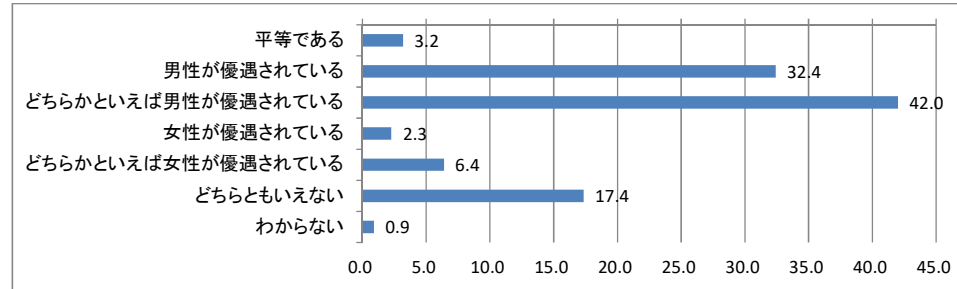
問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。

回答	人数	%
賛成	8	3.7
やや賛成	26	11.9
あまり賛成しない	60	27.4
賛成しない	81	37.0
どちらともいえない	51	23.3
わからない	3	1.4



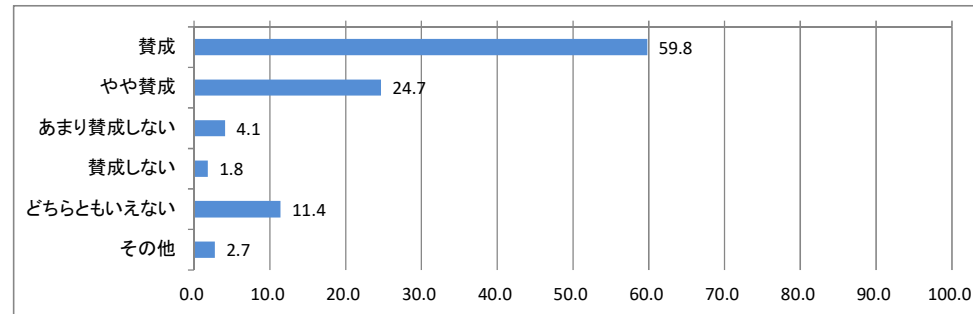
問4 現在の日本において、社会全体で男女の地位は平等になっていると思いますか。

回答	人数	%
平等である	7	3.2
男性が優遇されている	71	32.4
どちらかといえば男性が優遇されている	92	42.0
女性が優遇されている	5	2.3
どちらかといえば女性が優遇されている	14	6.4
どちらともいえない	38	17.4
わからない	2	0.9



問5 職場において女性が管理職に昇進することについてどう思いますか。

回答	人数	%
賛成	131	59.8
やや賛成	54	24.7
あまり賛成しない	9	4.1
賛成しない	4	1.8
どちらともいえない	25	11.4
その他	6	2.7



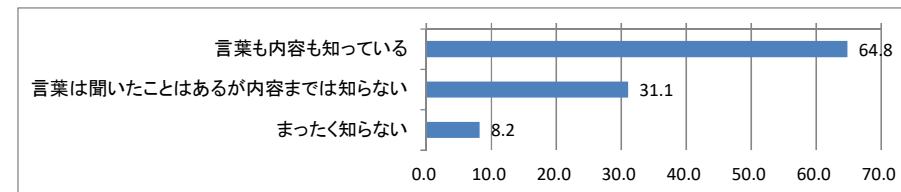
その他のご回答

- ・性別でなく能力で判断すべき
- ・本人がいいなら良いと思う
- ・本人の能力次第
- ・男でも女でも能力が高い方が上位に付くのは当然だと思う
- ・性別は関係ない
- ・賛成反対なく当たり前にあるもの

問6 「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」という言葉を知っていますか。

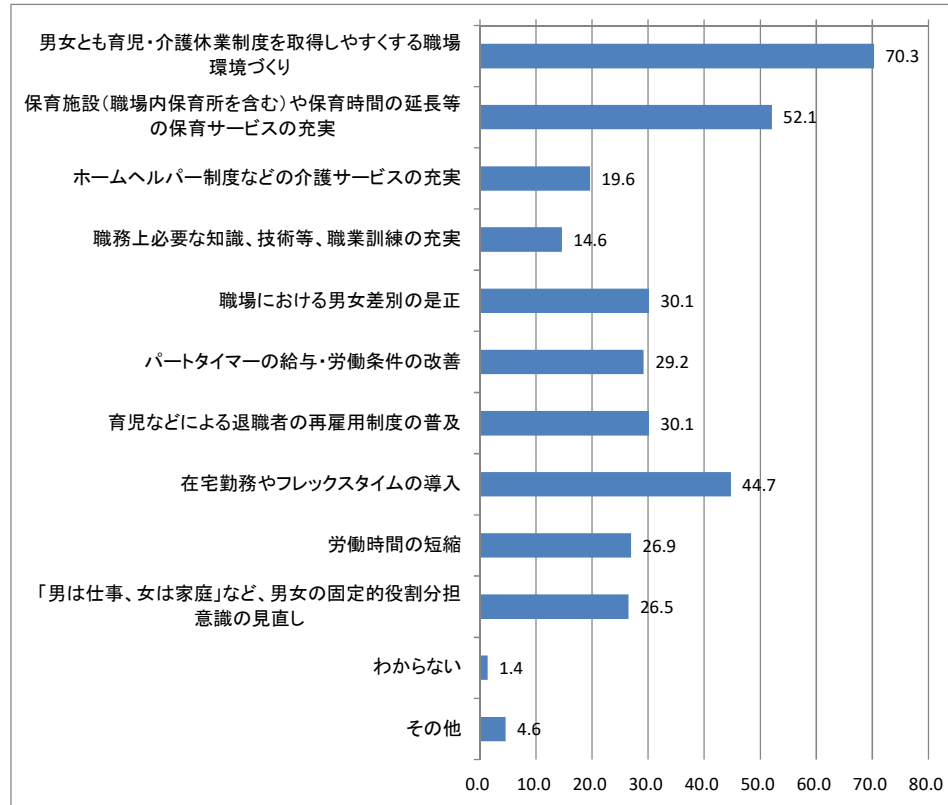
回答	人数	%
言葉も内容も知っている	142	64.8
言葉は聞いたことはあるが内容までは知らない	68	31.1
まったく知らない	18	8.2

※未回答 1件



問7 男性も女性もともに仕事と家庭生活の両立をしていくためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。（回答は3つまで）

回答	人数	%
男女とも育児・介護休業制度を取得しやすくする職場環境づくり	154	70.3
保育施設（職場内保育所を含む）や保育時間の延長等の保育サービスの充実	114	52.1
ホームヘルパー制度などの介護サービスの充実	43	19.6
職務上必要な知識、技術等、職業訓練の充実	32	14.6
職場における男女差別の是正	66	30.1
パートタイマーの給与・労働条件の改善	64	29.2
育児などによる退職者の再雇用制度の普及	66	30.1
在宅勤務やフレックスタイムの導入	98	44.7
労働時間の短縮	59	26.9
「男は仕事、女は家庭」など、男女の固定的役割分担意識の見直し	58	26.5
わからない	3	1.4
その他	10	4.6

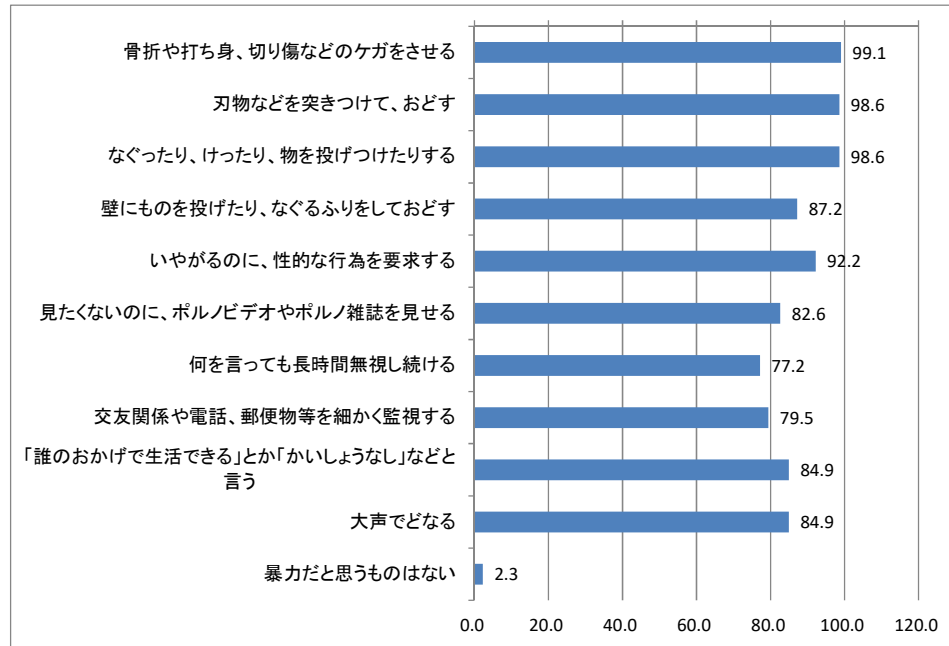


その他のご回答

- ・男性も女性も、これまでの様な古い固定概念を改革することが一番重要です！
- ・年配の人の理解
- ・上記内容全て
- ・経営陣、管理者を啓蒙
- ・個人の能力の向上
- ・家事のスキル向上研修（男性向け）
- ・育休ではなく通常の有給休暇を取りやすくする
- ・教育（家族のために動く価値／又は具体的な動き方）
- ・育児などの補助金の充実

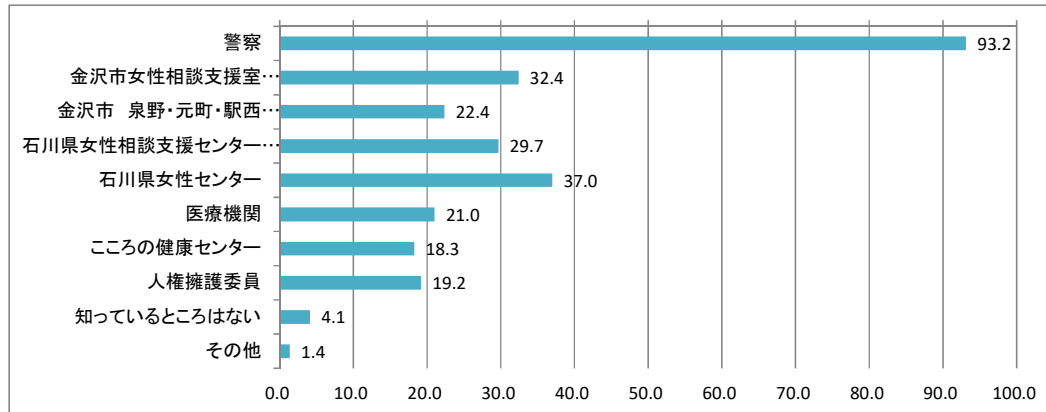
問8 次のようなことが配偶者や交際相手など、親密な関係にある者の間で行われた場合それを暴力だと思えますか。（複数回答可）

回答	人数	%
骨折や打ち身、切り傷などのケガをさせる	217	99.1
刃物などを突きつけて、おどす	216	98.6
なぐったり、けったり、物を投げつけたりする	216	98.6
壁にものを投げたり、なぐるふりをしておどす	191	87.2
いやがるのに、性的な行為を要求する	202	92.2
見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	181	82.6
何を言っても長時間無視し続ける	169	77.2
交友関係や電話、郵便物等を細かく監視する	174	79.5
「誰のおかげで生活できる」とか「かいしようなし」などと言う	186	84.9
大声でどなる	186	84.9
暴力だと思わない	5	2.3



問9 配偶者や交際相手など、親密な関係にある人から暴力を受けたとき、相談機関であなたが知っているものはどれですか。（複数回答可）

回答	人数	%
警察	204	93.2
金沢市女性相談支援室（配偶者暴力支援センター）	71	32.4
金沢市 泉野・元町・駅西各福祉健康センター	49	22.4
石川県女性相談支援センター（配偶者暴力支援センター）	65	29.7
石川県女性センター	81	37.0
医療機関	46	21.0
こころの健康センター	40	18.3
人権擁護委員	42	19.2
知っているところはない	9	4.1
その他	3	1.4



その他のご回答

- ・暴力は必ずしも女性が受けるモノじゃ無い！この部分が既に差別社会である！
- ・弁護士
- ・民生委員

問10 金沢市の男女共同参画の取り組みについてご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

本格的に運用しようとする姿勢を金沢市そのものが実行しなければならないと思う。市役所を訪れたり議会を傍聴していても、その機運が感じられず残念至極。言葉だけが独り歩きしているが、実現性に乏しいと実感する
日本人の意識改革から始めないと到底できるものではないと思う
取り組みとしては賛同できるが、実際に男女共同参画が浸透できているかと言えばまだまだだと思う。男女平等が当たり前となるような雰囲気作りがない事には、浸透していくのは難しいと思う。
広報を充実してください。市がどういう取組をしているか、全く知りません。
公的な組織から積極的に女性の登用を推進し女性ならではの仕事に着いてもらう所から始めたらと思います。女性の進出が目覚ましい仕事もあるやに思いますがやはり男性に頼る所があるのは否めないとしますので共存共栄でやれば良いと思います。
取り組みがあるのか不明。
男女共同参画が言われて久しいが、制度改革、法改正等が行われて少しずつ前進しつつあると思う。ただ、特に男性の意識があまり変わっていないのではないかとされる。女性管理職数、女性議員数等世界的にみてもかなりの後進国と言わざるを得ない。意識変革を粘り強く行っていく必要がある。
どんな取り組みをしているか、全く知らない。
この男女共同参画のミーティングに参加したことが在る！私の率直な感想は、男女差よりも個人差が極めて大きい事に気が付いた！私は男性だが、気が強い女性参加者に虐められた苦い経験がある・・・。
もっとわかりやすくPRすることが、大事ではないでしょうか。
どんな取り組みがなされているか、見えて来ない。
子供の家事参加をさらに拡充し、将来、配偶者になるにふさわしい家事力をつけることが男女平等につながると思う。今の現実ですぐに夫というより、男子、女子の子供たちが母をサポートするため、宿題はちゃんと自分でやる。ポケットのものをだして洗濯籠にいれる。先生の話、プリントを母に必ず見せる。くつしたはぬいだら洗濯籠へ。といった名もなき家事をサポートできる子供たちの育成が今の母を支援し、未来の妻を支援することになると思う。
いろんな取り組みをしているのかもしれませんが、根本的に考え方がかわらないとだめだと思う。変わらないんだろうなと思います。
諸外国(特に欧米)と比較して女性の社会参画における理解が不足しているのは事実だと思う。また女性の能力を客観的に評価し報酬や昇進に反映させる仕組みが十分ではないとも思います。このことは企業努力にゆだねざるを得ないところではありますが、市としてできることは、やはり女性が働きやすい環境や制度を充実させるとともにセミナーなどを通じて企業への啓蒙・働きかけを推進していくことだろうと思います。
仕事も家庭も人それぞれです。それを自分の価値観だけで判断することなく、お互いが認め合う社会を目指していけるようになればいいと考えています。そういう社会になる手助けを行政にもとめます。余り窮屈にならず暮らしていける社会が一番と思います
会社でも、男性が育休をとってもいいような環境作りをもっとした方がいいと思います。現在、会社に初めて育休を取った男性がいるがそれに続くような感じがしない。東京の様に、もう少し環境を整えるべきだと思います。
私は古い時代に生まれ育ってきました。男が台所に立つ等したら、家の嫁は息子に何をさせるんや！などと言われたものです。男が外に出て働き妻子を養い、妻が家庭を守るのが基本でした。今の世の中、なんでも男女平等といわれていますが、大きく違うのは、男には子供が生めないということです。女性が管理者になった場合、出産・育児の空白を埋める余裕がないのがほとんどの会社だと思います。夫にも育児休暇というのですが、対応できない職種もたくさんあると思います。出生率が落ちているのはそのためだと思います。'

<p>昭和50年代と記憶していますが「国連婦人の十年」が可決され、わが国も国、県あげて運動に参加。しかし、当時は平等意識が低く、理解が得られない向きもあった。国の合同庁舎内の労働基準局に担当者が置かれ、県と共同で周知のための会議を開催するなどした。「昭和55年石川県婦人白書」(県民課担当)を刊行。厚生、労働、教育、その他に関する行政の現状をまとめたもの。市玉川図書館の資料室に現物あり。婦人会館が完成したが、数年後、「婦人」がいけないと言われ、女性会館に変更された経緯あり。先進国視察で米国へ婦人団体の責任者30数名参加。団長:県議土下用欣子氏。中国視察もあり。「天の半分は女性が支える」のことばどおり、二十歳前の少女の軍服姿があちこちでみられた。列車の車掌も女性で、共産主義社会の現実をみた。'</p>
<p>毎年女性センターのセミナーを楽しみにしている。(女性のエンパワーメント講座)今後も継続してほしい。</p>
<p>金沢ではまだまだ女性の地位や職場などでは男女差の格差はあります。石川県全体に女性の地位は低いです。女性は早く結婚して家庭に入るべき意識が強い地域です。女性が技術や資格などあまり取れないや女性が都会みたいに活躍できる場が少ないのが現状である。女性は石川県よりも都会の関東や関西方面に流失しやすく、女性が活躍や女性を意識しなくても自分の経験や知識など活かした職場は石川県全体で少ない。金沢も含めた石川県の男女差の格差や差別はある地域です。金沢も含めた石川県では男性優位である。たとえ女性の職場であっても男性社員が少ないか採用しない傾向にある。男女共同実現にはまだまだ程遠い感じです。石川県全体的に男は仕事、女は家庭の固定観念が強い地域です。女は家事・育児は当たり前、男性は家事・育児はほとんどしない傾向にある。(日本全体的に)海外から日本は遅れている。</p>
<p>男性が育児休暇等取りにくい環境にある。有給のように義務化してはどうか。</p>
<p>まわりに言えずに苦しんでいる人は沢山いると思う、ストーカーにしても家庭内暴力にしても何か起こるまでその手の機関は動かない、結果起こってしまつて時すでに遅しになっているのが現状！改善したいものです。</p>
<p>女性がパートやアルバイトで働く職種、スーパー・販売等の企業に対する意識改革を徹底すること。女性の戦力なくして、もはや、事業活動は不可能であることを知らしめることが、効果的と思う。</p>
<p>金沢市の取り組みに限ったことではないが、この手の改革は非生産的な方向に向かっていく傾向にあると思う。仕事と家庭生活の両立は大切だが、全体的に、給料は据え置きで、仕事の能率を下げ、家庭生活を充実させようという方向に向かっている。家庭生活の充実のために収入が減るのはやむを得ない、或いは、日常の家庭生活は多少削つても特別な機会を充実させるためにより大きい収入を得よう、といった考えを表明したり、尋ねたりできるようになっていけばいいと思う。</p>
<p>金沢市以外でも男女共同参画の事を聞いた事があります。確か千葉市だと思います。</p>
<p>保育園、小学校、中学校段階での取り組みを増やしたらいかがでしょうか。年がいけばいくほど既成概念にとらわれるようになってしまうから。</p>
<p>学校の授業参観やPTAの仕事を夫婦共働きでも無理なく参加できるように工夫して欲しい。男女共に仕事に打ち込めるように、ゴミ出しの負担や雪かきの負担を住民にかけずに行政が工夫してほしい。</p>
<p>仕事と家庭の両立に伴い、家庭における男女の役割分担は、本当に難しい問題です。いろいろな考えを持つ人がいる中で、やはりそれぞれの立場を守ってあげられるような制度や法律があると、安心して主張したり、お互いに譲歩できたりするのかなと感じます。当事者同士、内輪だけの解決は、ほぼ不可能だと思います。</p>
<p>男性がDV被害を受けていた場合は、どこに相談するのか疑問がわきました。相談機関の名称変更も必要かと思います。</p>
<p>基本的には市というより国の課題だと思うので、国の指針に従って取り組んでいけばよいかと思います。</p>
<p>男女で体力差など考慮すべき仕事もたくさんあり全てが全く同じに平等とはいきません。逆に賃金格差不安や雇用継続不安、育児休暇や介護休暇取得後による、再雇用や賃金低下の経済不安があるために、若い人達が結婚しなくなり、どうしても子供を産む産まない、2人目3人目はどうする？のストレスを抱えるのは女性です。そういう選択を迫られない世の中が、本当の意味の共同社会では無いでしょうか。</p>
<p>女性の意識改革が必要。特に金沢の女性は『私は女やから・・・』と表に出ない。</p>
<p>男女又は個人間の得意分野に差がある。両者でよく話し合つて役割分担する場合はたとえ仕事量に差があつても「差別」ととらえられない。何事も決めつけはしないことだ。</p>
<p>金沢市が積極的に取り組んで行く事は良いと思いますが国・県の指導方針が徹底され実行されなければ漠然としたものになるのではないのでしょうか。</p>

<p>もっと広報に力を入れて頂きたい。また、啓蒙活動のため、イベントや講演会を活発に展開して頂きたい。</p>
<p>良くは分からず見間違いかも知れないが、男性と女性では体力差があるのに、何でもかんでも同等にという考え方に納得しがたいものがあります。一例をあげるなら、女医さんが夜勤勤務続けられないと思います。やはり男性の出番だと思います。</p>
<p>まだまだ市民に周知されていないと思いますので、いろいろな機会を通じて周知する必要があると思います。</p>
<p>少しでもよくするための様々な取り組みは必要だと思いますが、男尊女卑で染まっている世代は、それが間違っているとは全く思っていません。パワハラ、セクハラ、アカハラ等すべて根っこは同じです。このような世代が社会で権限を持っている間は難しいと思います。しかし、この世代も時間とともに消えていきますから、そう遠くない時期に大きく進展する時がくると思います。いったん染みこんだ価値観を変えるのは本当に難しいことです。今の若い世代が間違った考えを持たないようにするためにも、啓発活動は必要です。学校でも教えるべきです。若いほど効果があると思います。</p>
<p>女性は出産子育てでどうしても休まなくてはならない期間があり、乗りきったとしても今度は親の介護があります。長く働くには家族の協力が絶対です。金沢市の男女共同参画とは何か教えて下さい。</p>
<p>やはり、わかっているようで、分かっていないと思いました。実際、問9のようなことがあったとき、相談機関を訪れるか、アクションにうつすことが不安に思いました。男性や会社など実社会の意識改革が必要だと感じます。</p>
<p>幼児の一時預かりなどわかりにくいので、広報で案内してほしい。</p>
<p>先ず、金沢市議会議員選挙における男女同数立候補を条例化する必要があるのでは。</p>
<p>家事・育児も立派な労働です。社会に出て働くこともいいですが、専業主夫・主婦として社会に貢献(次世代に生きる人材の教育など)したい人もいます。どちらがいいとかではなく、だれもがどちらでも自由に選択でき、活躍していける社会こそ本当の男女共同参画と言えるのではないのでしょうか。</p>
<p>男に子供が生めないように、何でも平等にというのは無理。どんなことをして支え合えるのか、お互いができることを教えてほしい。</p>
<p>DVがなく女性が生きやすくなるように取り組んで欲しいです。</p>
<p>男性が、家事が出来なさすぎる。少しだけでも、やってやったと思っている。自らすすんでやらなくては、意味がないと思う。もしくは、主婦にたいしても、賃金を支払うべき。数字に現すべきと、思う。</p>
<p>互いが、人として認め合い、尊敬し合えば、調和できるのに。</p>
<p>女性の地位向上だけでなく、男性が早く帰って家庭生活を送れることが必要。男性が帰宅できなければ、結局、保育園のお迎えも、家事もできない。</p>
<p>女性の進出や役職就任率など数値目標を定めて施策を進めるのも大切かと思うが、各場面に応じた現実的な役割の充足率などの実態を見極めて、女性の進出を容易にできる環境や適材への担任を進めていくことが必要だと思います。</p>
<p>実力ややる気のある女性が昇進して管理職になる手助けをしていく事は良いことだが、画一的に「女性管理職を〇〇人にしよう！」などと言って無理やり女性管理職を増やすのは本人も部下も苦しむことになるのでやめた方がいいと実体験を通じて強く思います。</p>
<p>今回のアンケートは勉強になりました。女性だからではなく、女性も男性のように何をすることも認められる、そんな時代が早く来たらいいなあと思いました。</p>
<p>日本全体がまだまだ男性優位の社会だと思いますので、金沢市がその是正をリードするくらいの取り組みをお願いします。</p>

<p>シングルマザーのために子供の食事、お迎え等育児ヘルパーが必要だと思います。</p>
<p>考え方を変えることをしなくてはいけないと思います</p>
<p>どのような取り組みをしているのか、わからない。</p>
<p>積極的に進めて頂きたい。金沢は保守的な土地柄と思われがちですが折に触れ男女共同参画の成果を統計的見地から市民に公表してほしい。</p>
<p>女性の社会進出は比較的進んでいるエリアだと感じるが男性の家事参画に対しての意識は低いように感じる。女性の働き方よりも男性の家事への参加の重要性の認識を高めてもらいたい。女性の負担は相当に高いように感じる。</p>
<p>管理職に女性が少ない。もっと女性の能力を活用すべき。</p>
<p>掛け声ばかりで中身がない。</p>
<p>知らない人がいるということが、大問題。</p>
<p>もっと積極的に推し進めるべきである。</p>
<p>男性も育児休暇を取りやすい環境になるようにしてほしいです。会社内での意識改革がもっと必要だと思いました。</p>
<p>「男は仕事、女は家庭」の完全否定ありきの考えはどうかと思うときがあります。残念ながら「男は仕事、女は家庭」でよかったことに関する事柄は情報提供されていません。「男女仕事」「男女家庭」は、並行して推進するべきだとは思いますが、「男女仕事」に偏って進んでいる気がします。それによる副作用が「少子化」ではないでしょうか？</p>
<p>具体的な取組内容が不知のため、コメントできませんが、内容を知る方法が教示ください。</p>
<p>育児で仕事を休む辞めるのは女性だな、と痛感する。上に立つ管理職の意識が変われば職場の風が変わるのではないかな、と思う。</p>
<p>男性・女性に囚われない生き方や新しい思想の定着が必要かとおもいます。あとは、家庭内においての肉体的・精神的な暴力はなかなか表に出ないケースが多いと思うので、しっかりとプライバシーを守られながら相談できるツールが必要であり、より広く認知されるべきだと思います。</p>
<p>男女二人で自らそのような社会を切り開いていくことが必要と思う。</p>
<p>活動自体を知りませんでしたので、市のHPなどでアピールして頂けたらと思います。</p>
<p>個人的な意見で申し訳ないのですが、男であろうが女であろうが、個人が尊重される社会であれば、どのような性別であってもいいのになと思います。</p>
<p>金沢は公立の教育環境がとても良いと思います。しっかりと子育てできるためには保育施設の充実などではなく、母親がじっくりと幼い子どもを育てられる社会が必要です。そのために、子育て支援サービスなどが充実していることが好ましいです。実家がそばにない核家族でも安心して子育てできるような金沢であって欲しいと思います。</p>
<p>金沢市男女共同参画推進行動計画とは通常の男女共同～と異なる点がわかりません。</p>

地方においては中々難しく難題ですね。
女性の社会進出や就労を促す一方で、保育園不足や低賃金などの問題はまだ解決していない。幼保無償化は根本的な解決策ではないが、少しでもそちらの議論が増えた証であり、今後も継続して民間の意見を聞いた政策や取り組みを期待している。
職場、家庭、地域での男女平等を支持します。
一般的に市民に浸透している様に思われない。その理由は、講演会やメディア等教育や啓蒙活動が不十分に思います。
長い間の日本の生活環境がなかなか男女共同参画というあり方を実行するのは難しいと思っています。
まずは市役所から、女性管理職を増やしてください。
広報活動によりもっと取り組みを広めていただきたい。
私は男性と女性は生物学的には同じではないですが、最近は「共同」と「同じ」の意味が時々混乱している様にも思えます。各々、出来ない事(例えば、出産)がある事も理解しながら、個々を尊重出来る、する時代であって欲しいです。
色々と男女共同参画と言われて久しいが、国も自治体も企業、社会全体の取り組みが遅れている様だ。
女性が管理職に就けるよう、職業トレーニングや各種セミナーを開催することが必要。だがその前に、女性自身の意識改革と、それに基づく自己研鑽、自己訓練が必要だと思う。「求めよ、さらば与えられん」。女性は「ぼた餅は、上から降って来ない」ことを自覚することが、そもそものスタートラインだと思う。周りのお膳立てだけでは、一向に前に進まない。
私の働く職場は育児における時短勤務、フレックスタイムが利用できますが、制度としてあるからといってじゃあ利用できるかといえば、自分のしている業務の後任問題があったり、周りの理解が足りなかったりとで、非常に利用しにくい状況があります。恵まれた福利厚生のある職場で働いていても仕事を辞めるという選択で迷っています。制度も大切ですが、実際に利用できるような業務配置の企業努力がまだまだ足りないように思います。育児と仕事、家庭の両立はやはり女性の負担が大きく、自由がありません。子育てをしながら働くのは確かに子供がいれば急な休みもあり企業にとっては扱いにくさもあるかもしれませんが、限られた時間の中で効率よく仕事をしなければならない状況にあるので残業も少なく生産性もあるかと思えます。もっと子育て中の人の社会的地位が上がり、男女どちらであっても仕事と育児の両立ができる社会がくることを期待しています。
「男は仕事、女は家庭」など、男女の固定的役割分担意識の見直し改革を進める。
給料の平等
女性も安心して働ける社会になるよう取り組んでほしい。
条例が定められていても、その内容を周知させるための工夫、その内容を実施した場合への奨励費用、罰則などを考える必要があるのでは？
女性の社会進出、管理職登用を増やしていくには、家事や育児の負担を減らす試みを実施していったほうが良いと思います。なので信頼できるヘルパーを雇いやすくしたり、相談できる機関や施設を増やしていった方が良いと思っています。
法律で女性の役員を増やすなど法制度を制定するのが早道ではないか？
もう少し、市民に分かるように、アピールして欲しい。

<p>現状では、若い人は子供を産むことがリスクになっていると思う。金沢は子育てしやすい街に早急に対策しなければならない。</p>
<p>まだまだ女性が(子育て世代)が、正社員として働くにはどこかor誰かのフォローが必要です。</p>
<p>金沢市の男女共同参画の取り組みについては理解できるが、具体的に市民の個々が日常生活にどのように行動するのか難しいです。</p>
<p>日本は都市以外ではまだ男尊女卑な話を聞く事がある。高齢社会に多く聞かれる？</p>
<p>今回初めて「新金沢市男女共同参画推進行動計画」の内容を確認しました。10年計画で平成25年の策定から5年以上経過しており、国による働き方改革の推進が進められる等、社会情勢も変化しているので、計画の進捗状況やその状況等を踏まえた計画の見直しを検討していいのではないかと思います。</p>
<p>まず自治体の非常勤労働者を常勤にし、格差をなくすべきだ。自治体で働く非常勤職員は期間限定で雇っていて、安心して働ける環境ではない。そのような職場が、男女共同参画の取り組みを考えること自体が間違っている。まず、自治体が男女の格差をなくしたうえで取り組みをしていかないと話にならないのではないかな。</p>
<p>金沢市は昔から『武士社会』で歩んできた街、古い考えの残る街である。もっと開発を進めてゆくべきであります。女性の議員さんも少ない気がします。</p>
<p>金沢市男女共同計画に基づいた計画の推進を確実に実行していただくことが優先課題と考えます。行動計画には、多くの課題が盛り込まれていますが、一つ一つ確実な実行と共に成果を期待します。</p>
<p>役所が思うほど浸透していないですね。</p>
<p>啓蒙啓発をし情報発信していく。</p>
<p>お恥ずかしい限りですが……。男女共同参画の取り組みについて勉強不足で、意見を述べる事ができません。申し訳ございません。</p>
<p>私の世代は男女役割が決まっていたと思います。これからは決めつけるのではなく、お互いの違いを認め尊重し役割を決めていけばよいと思います。</p>
<p>取り組みがあったとしても、まだまだ会社のトップにいる人の考え方が古いので浸透しない。働き方改革と同じ。トップの考え方が変わらないから何も変わらない。</p>
<p>企業の育児・介護休業支援に行政が労働条件の条例などで実行力のある方法が出来る方が良いのですが、制度を利用出来ないか利用したら退職に追い込まれたりしない様になるといいです。</p>
<p>副市長を女性にしてほしい。</p>
<p>子供の頃から学校教育に取り込んでいく必要があります。</p>
<p>女性が表舞台に立つ際、ステレオタイプ的な物言いや表現がされる。女性ならではのきめ細やかな、という表現は女性は気遣いできて当たり前というカテゴリーに押し込んだり、役割を狭めたり、決めつけたりする。男性でも細やかな気配り目配りができる方もいれば、女性でもできない人もいる。活躍の幅は性差ではなく、個人差である点を踏まえて広報資料などを作っていたきたいです。</p>
<p>男性が家事育児に携わるには、育ってきた環境やその親の考え方が影響していると思う。たとえば実家に住んでいて、家のことを何もせずに過ごしてきた男性に、結婚して、急に家事育児を期待するのは難しい。結婚したから変わる・そうあるべきだと思うのは期待しすぎ。育児休暇を取得できても、ただの休暇になっている男性もいるらしいので、制度だけ充実してもなかなか思うようにはいかない。これからの子育てで、子供が男でも女でも、わりと幼い時から手伝いすとか、月齢の異なる友人とかかわることで、家のことをすとか、年下の子のお世話を(年上の子からお世話される)という経験を積ませるような教育が必要。</p>

必ずしも男女平等に、とは考えていません。本人たちの得手不得手、生活ペースがきちんと話し合われていればそれはそれでいいのではないのでしょうか。もちろん不平等だと不満に思う方もいらっしゃると思いますが、そこは家庭なり会社なりが是正しなければいけないと思います。

働く女性が安心して出産、子育てができるよう職場環境の改善や保育園の受け入れ体制の改善など個人の努力ではなかなか進展できないことが多いので行政自ら男性の育児休暇の取得など率先して推進していただきたい。観光文化都市として金沢は対外的に発信し成果が出てきているが、足元の住民が安心安全に暮らせる男女共同参画のモデル都市として発信できるよう行政の具体的な施策推進に期待しています。

家事育児は女性が主体的にやるという固定概念は無くしたほうがよいと思う。男性も家事育児を手伝うのではなく当たり前だと思って主体的に責任もってやるべきだ。また男性の育児を義務付けしてもよいくらいだと思う。女性なら産休育児休暇とれるのに男性が休みづらいという時点で男女平等でないと思う。子育ては母親ひとりがするものではない。父親の育児や子どもが小さいうちは残業禁止などの企業の取組みを市が評価、表彰し、さらに浸透するようになったらいいと思う。

性別による向き不向きがあることは事実です。いたるところで男女平等と考え固執するのは違うと思います。得意分野を尊重して協力し合う社会が合理的でもあり公平なのかなと思います。

古い考えの男がいる限り、無理かなーと。私は、散々いやな上司に苦しめられて、産休、育休ととりたかったけど、結婚して辞めました。今でも夢でうなされます。そういうやつが、上にあがってく限り無理かと。女性に優しい世の中で、あってほしいです。